



表紙 激しいタックルで奪い合い

大王谷運動公園で東九州ミニラグビー交流会が11月4日、開かれました。

これはラグビーの指導会を兼ねて参加チーム相互の交流を図るため、九州ラグビーフットボール協会が開いたもの。

交流会は選手451人が参加して行われ、日向市からは日向ラグビースクールが参加。選手たちは小学1年生から6年生。激しいタックルでボールを奪い合い、応援に詰めかけた家族は熱い声援を送っていました。

■特集

日向市市制施行50周年記念式典

■市政の動き

記念碑を世界恒久平和のシンボルに、平成13年度日向市文化賞に長渡万太郎さん、平岩地区介護予防拠点施設の名称が決定、豪華客船「飛鳥」クルーズ

■まちの話題

今日だけの模擬セリも実施/第2回市場まつり、駅は始まりと交流の場所/駅前フェスタ2001ほか

■インフォメーション

市の年末年始の業務案内、農業をする人は登録を、国保の保険証の切り替え、市の臨時職員の募集、福祉バスの名称・デザインの募集、サンパーク温泉施設職員募集ほか

日向市市制施行 50周年記念式典



出席者全員で市歌を斉唱

戸高さん(左)、児玉君(右)



を祝う言葉がありました。この中で、今年、日向市と友好都市締結15周年を迎えた瀧坊市の斎藤華副市長からは「友好関係は健全的に前進しています。友情が永く続き日向市民が幸せでありますように」と祝辞がありました。

このあと、日向市50年のあゆみがスライドで紹介され、これまでの市の発展をトピックスで振り返りました(4・5ページに一部掲載)。また、市歌斉唱は、緒方美由紀さんのピアノの伴奏と地元のコーラスグループ・ひむかいコーラス、ふれあいコーラスの歌声に合わせて斉唱。最後に、閉式のことうを黒木國衛収入役が述べ、式典は終了しました。

◆ 式典の中で、市民憲章を朗読した児玉君は「とても緊張しました。学校では戸高さんと3回だけの練習でしたが、家では何度も練習しました」と。戸高さんは「はじめ緊張したけど、朗読を始めたから緊張もとれてうまくいきました」と、大きな舞台の感想を話してくれました。

とても気に入っています

森畑日向さんに名誉成人証書を授与

「わたしの名前は、森畑日向です。こんな見出しで20年前(昭和56年4月号)の『広報ひゅうが』に、森畑日向さんの記事が掲載されています。そして「高知県須崎市に住む森畑東洋一さん、記代さん夫妻に今年の1月20日、待望の女の赤ちゃんが生まれ、『日向』ちゃんと命名されました。(後略)日向ちゃんの誕生は、昭和56年2月20日、当時の故・甲斐敦市長あてに手紙がよせられ、正しい『日向』のふりがなを教えてください」ということから分かりました。このとき市長は森畑さんへ「日向」の正しいふりがなと誕生証書に歌をよみ郵送し、誕生を祝福しました。「市制50年を迎えるころは満20歳。どんな日向さんになっていくでしょうか」と広報ひゅうがに紹介されています。

その森畑日向さんに16日の記念式典で名誉成人証書を贈り、成人を祝いました。日向さんは「実際の成人式には都合で



証書を受け取る森畑日向さん

特集 日向市市制施行50周年記念式典

次の世代にどう生かしていくか

市民一人ひとりが主役に

21世紀という新世紀を迎え、現在の社会情勢は、少子高齢化の進行、高度情報化・国際化の進展、さらには地球規模の環境問題など、複雑多様化しており、人々の価値観も「物」から「心」の豊かさへと移りつつあります。このような中、市制施行50周年を迎えたことは、ひとつの大きな節目であり、過去の歩みを顧みるのみではなく、来るべき次の世代に今日までの歩みをどう生かしていくかを見極めていく時期にあると思います。また、今後、住みよい社会や真の意味での地方自治を築いていくためには、市民一人ひとりが主役となり、市政全般にわたり積極的に参加していただき、行政と連携し協働していくことが必要であると考えております。



日向市長
山本 孫 春

これまで歴代市長をはじめ、諸先輩、市議会、国・県ご当局のご支援ご示唆、さらには市民のみなさんのご厚情をいただきまして、日向市は発展を続けてきました。このことは日向市政を担う私たち行政にとりまして大変ありがたく、光栄に存しております。お蔭様をもちまして、市政全般にわたり順調に進展していると確信をしているところでございます。

第4次日向市総合計画の、本市の将来像であります「だれもが住んでみたくなるまち」を目指して「市民による市民のための市政」を基本姿勢としながら、6万市民と行政が一体となった市民参加のまちづくりを進めているところですが、この市制施行50周年を契機といたしまして、本市のさらなる発展に向け鋭意努力をして参りますこととお誓い申し上げ、ごあいさついたします。

平成13年11月16日

自治功労者・一般功労者・特別功労者、208人・26団体を表彰



謝辞を述べた千代反田 泉さん

日向市市制施行50周年記念式典が11月16日、日向市文化交流センターで開かれました。

記念式典では、本市の行政分野で、市政発展のために貢献した自治功労者や産業・経済・観光・福祉・教育・文化などの各分野において顕著な功績のあった8部門、208人、26団体の表彰などを行いました。

まず、開式のことばを弓削哲郎助役が述べたあと、国歌斉唱。参加者全員で市の発展に尽くした先人の霊に黙とうを捧げました。

次に、日知屋小学校6年生の児玉弘見さんと戸高未来さん2人が「日向市民憲章」を朗読。このあと、山本市長が「第14代市長として式典を挙行できることを喜びに思います。ご臨席のみなさまとともに本市の更なる発展に向け、誠心誠意努力をしてまいります」と式辞を述べました。

また、黒木敏雄市議会議長は「50年を振り返ると、なんと言っても新産業都市指定を市民あげて祝ったことが脳裏に浮かぶ」とあいさつ。このあとそれぞれの部門の代表者14人に表彰状と記念品が贈られ、式典に参加した人たちは大きな拍手でその功績を称えました。

これに対し、一般功労部門の福祉・衛生部門で表彰された千代反田 泉さんが受賞者を代表して「過分の評価をいただき感謝しています。私たちは市の発展とともに生きてきました。きょうの感激を忘れることなく、さらに精進します」と謝辞を述べました。

また、日向市市制施行30周年の年に生まれ、「日向」と名づけられた森畑日向さん(神戸市在住・20歳)に市長から名誉成人証書が授与され、記念式典に花が添えられました。

このあと、松形祐堯宮崎県知事をはじめ5人の来賓から、50周年

市民健康管理センターがオープン

平成4年6月に市民健康管理センターが完成し健康づくりのため各種事業が行われるようになりました。この年の8月には日知屋公民館が開館し人口急増地区の社会教育の充実が図られました。ここには児童センターも併設されました。

たいえい橋が開通

平成6年3月、塩見川の南北を境とする国道10号の渋滞の深刻な解消を図るため、この川に架かる6本目のたいえい橋が開通しました。また9月に日向・延岡を中心とした地域が県北地方拠点都市に指定されました。

平成8年5月、財光寺デイサービスセンターがオープン

9月1日、日向市立図書館が蔵書45000冊で移転開館し登録者数、貸し出し数等県内トップクラスの利用率を誇っています。10月には放送大学宮崎学習センターが開設され、県内外から多くの学生が学んでいます。平成10年7月、日向サンパークオートキャンプ場がオープンしています。

細島港国際ターミナルが完成

平成12年耳川流域の1市2町5村の森林組合が合併し、県下初の広域森林組合として耳川広域森林組合が発足。平成11年3月、市民悲願の東九州自動車道の杭打式が行われました。平成12年8月、白浜地区に4万トンプラスを備えた国際ターミナルが完成しました。現在では、韓国航路が週2便、台湾航路が週3便就航しています。今年は、南、北沖防波堤の築堤へ向け大きく前進しました。(出典・写真が語る日向市50年のあゆみ)

国際時代の幕開け

昭和61年、国際化時代の幕開けとして中国潍坊市と友好都市を結びました。

消防庁舎が亀崎に移転

昭和61年には近代的な消防庁舎が亀崎に完成し複雑多様化する各種災害に対応する体制が整いました。昭和62年10月、都市公共下水道が処理区100ヘクタールで供用を開始。翌63年1月には

日向のまちにふりそそぐ暖かい太陽のように高齢者から乳幼児まですべての人に暖かい、そんな日向市に。
子どもや大人がいつしよになつて遊べる遊園地をつくれば、人がたくさん集まる魅力あるまちになると思います。



村山朋藻さん
(20代)



那須 剛さん
(60代)

こんな日向市になってほしい
発展することも大事ですが、やはり、高齢者が安心して暮らせるまち、みんなが幸せになれるまちでしょうね。

日向のまちにふりそそぐ暖かい太陽のように高齢者から乳幼児まですべての人に暖かい、そんな日向市に。
ふるさと大使としてこれから日向に生まれ、日向に育つたことを誇りにしていきたいです。これからもがんばります。



荒木恵美子さん
(40代)



桂 歌春さん
(50代)

市立図書館が開館

昭和52年6月1日、待望の市立図書館が蔵書数14000冊でオープン。この年人口が55,000人を超えました。昭和53年には、地域の著しい人口増による児童数増により、日知屋東小学校、54年に財光寺南小学校が開校(56年には財光寺中学校、59年に大王谷中学校が開校しています)。

中央公民館が開館

昭和56年4月に、中央公民館が開館。生涯学習社会の到来とも重なり年間10万人以上が利用しています。今年リーグ優勝をした、大阪近鉄バファローズが日向でキャンプインし始めたのは昭和57年です。

日向市歴史民俗資料館がオープン

美々津の旧回船問屋を修理し日向市歴史民俗資料館がオープン。(美々津は昭和61年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました)。

11月には美々津し尿処理場が完成し可動しています。

公共下水道事業に着手

昭和49年に公共下水道事業に着手し住環境整備を始めました。また、日豊本線が4月に電化開通し、近代的な電車が走り始めました。

県立日向高校開校

昭和50年、富島高校普通科が分離独立し県立日向高校が市内で3校目の高校として開校しました。国鉄リニアモーターカーの実験線の調印も8月に行われています。

これからも「だれもが住んでみたくなるまち」を目指して市民とパートナーシップ みんなと歩んだ50年を振り返るとともにこれからの日向市について聞いてみました。

新産業都市に指定され工業都市に名乗りを上げました。また、新市庁舎が完成し躍進に向け新たなスタート。

美々津大橋が開通

昭和42年2月11日、美々津大橋が完成しました。また、美々津に日本プロイラー(現・日本ホワイトファーム株式会社)が進出しています。富高幹線水路も完成しました。

日向市が高齢化社会に

昭和45年、市の総人口に占める65歳以上の人口が7パーセントを超えついに高齢化社会が到来。

細島～川崎間に日本カーフェリーが就航

昭和46年3月1日、細島と川崎を約26時間で結ぶ日本カーフェリーが就航しました。

初の公害防止条例

昭和47年3月に日向市公害防止条例が制定されました。この年、勤労青少年ホームや細島公民館、初の老人福祉センターが開館。

人口が5万人を突破

昭和47年11月、市の人口が5万人を突破し県内で4番目の都市となりました。翌48年は武道館、美々津公民館が相次ぎ開館しています。大王谷小学校が9番目の小学校として開校したのもこの年。8月1日、日向農協が県下初の広域大型農協として発足。

記念式典が行われ、市歌と市の花「ひまわり」が制定されました。人口は40,728人となり初の4万人を突破したのもこの年。日向工業高校が開校し、市内の県立高校は2校となりました。また、細島臨海工業地帯に第1号工場として鉄興社(現・東ソー株式会社)が

だれでも、気軽に来ることが出来るまちになつてほしいです。
ずっと日向市に住み続けたと思います。将来は公園など楽しい場所がたくさんできると思います。

まちの中心地に人通りが多くなり、商店街が活性化して人の笑い声が絶えないまちになつてほしいと思います。
福祉も向上し安心して暮らせる時代になりました。将来は家庭や地域で子どもたちに囲まれる生活がしたいですね。



児玉弘見くん
(10代)



那須由香さん
(30代)



戸高未来さん
(10代)



黒木寿賀子さん
(60代)

日向市の誕生

昭和26年4月1日、東臼杵郡富島町と岩脇村が合併し、県下で6番目の日向市が誕生。人口31,553人。

初の市長、市議会議員選挙

5月13日、市長と市議会議員選挙が行われ初代市長に三尾良次郎さんが就任。30人の市議会議員が選ばれました。

細島臨海工業地帯造成事業に着手

昭和27年には細島臨海工業地帯造成事業に着手しました。

美々津町を編入合併

児湯郡美々津町が昭和30年1月1日、日向市に合併し、人口37,710人、面積117平方キロメートルの歴史的な観光資源を併せ持つ市となりました。

初の工場、日向製錬所が進出

昭和31年、工業都市を目指す本市に日向製錬所が進出し市民に明るい希望を抱かせました。

市立上町保育所の開所・日向中学校の開校

昭和34年、市内では初めての市立上町保育所が開所、翌昭和35年、日向中学校が開校し児童福祉や学校教育の充実が図られています。昭和35年に日本畜産株式会社(現・南日本ハム株式会社)が財光寺に進出しました。

市制10周年で人口4万人を突破

昭和36年4月1日、市制10周年

誘致されました。

市庁舎の全焼

昭和38年1月、市庁舎講堂付近から出火し市役所が全焼。この年日向海岸が県定公園に指定され、工業地帯には共和製糖(現・第一糖業株式会社)が進出。また、富高駅は日向市駅に改称しています。

新産業都市の指定

昭和39年1月、日向・延岡地区が

国有財産の法定外公共物（里道・水路）が市の公共物になります



●今まで、国の財産であった法定外公共物が、市に譲与されることになりました。平成13年7月に大字細島地区の譲与申請を受け、次は大字富高地区を、その後は順次、大字ごとに譲与申請を行う予定です。このため、日向市では「法定外公共物管理条例」を平成14年4月1日より施行します。

●法定外公共物とは、法律用語ではなく、道路、河川等の公共物のうち、道路法、河川法等の公物管理に関する法律の適用や準用を受けないものの一般的な呼称で、里道（赤道）、水路（青道）のことをいいます。現在の法定外公共物は、国土交通省所管の国有財産であり、財産管理について国の機関委任を受けた国有財産部局長である都道府県知事が行っています。今後は、随時国から現在利用されている里道・水路を市が譲与を受け、財産管理を行います。なお、現在利用されていない法定外公共物については国有財産としてそのまま残ります。

●主な条例の内容ですが、今後市が譲与を受けた法定外公共物において、個人的に工作物を作る行為等を行う場合には、市の許可が必要になります。

市が譲与を受けた後に、許可を受けずに工作物等を作る場合、人為的に機能を喪失する行為等（里道・水路を壊した、または、壊れることが予想できる行為等）を行った場合には、5万円以下の罰金、拘留又は科料が課せられる場合があります。

市制施行50周年を祝い、市民参加のもとに数多くの事業に取り組んでいます。

市は、市制施行50周年を祝い、ここでは、今まで取り上げられなかったものを中心に主な事業をいくつかご紹介します。今年は、このほかにも様々な取り組みが行われています。

市民参加の自主企画事業や市主催事業としてたくさんの記念事業に取り組みました。かったものを中心に主な事業をいくつかご紹介します。今年は、このほかにも様々な

日向市社会福祉大会

第11回日向市社会福祉大会は9月22日、日向市中央公民館で開かれ、約300人が参加しました。山本市長は「だれもが健やかで安心して暮らせるまちをつくるため公民協働で地域福祉計画を策定し、今後も社会福祉向上に努めます」とあいさつ。その後、地域の社会福祉功労者や団体・ボランティア活動児童など121人、29団体を表彰しました。また「住民参加を図りな



がら、公民協働体制の充実とともに6万市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組む」とした大会宣言を採択しました。大会後は記念映画「ハッピー」の上映会も行われました。

市民参加型モニュメントの建立

市民自主企画で市民参加型モニュメントが建立され、10月21日、日向岬グリーンパークで除幕式が開かれました。除幕式には約150人が参加。「家族の絆」をテーマに、市民が自筆した432のメッセージが御影石に刻まれています。国延明充くんは「家族のみんなが健康でいられますように」と黒木藍加さんは「家族みんなに笑顔が増えると幸せも



増えている」と書いています。これ以外のメッセージには子どもや親に宛てたもの、地域や市の将来、自分の夢や希望などが書かれています。この日は高齢者の竹とんぼ製作、石臼を使つての餅つきの指導もあり「ふれあい除幕式」で交流を深めました。

子ども文化祭(日向市中学生平和交流事業)



昭和19年、沖縄県浦添市から浦添国民学校の児童が日向市に集団疎開をしていました。(7ページに関連記事) 教育委員会は8月8日から10日にかけて、将来を担う中学生12人を浦添市に派遣し、浦添市役所の表敬訪問、戦争遺跡の見学、当時本市に疎開していた浦添市の人たちや現地中学生との交流などを行いました。日向市の学校、地域をビデオで紹介。男生徒は日向ひよつとこ踊りも披露しました。この事業は過去の歴史を心に刻み、戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えるため行ったものです。

日向市歴史遺産・文化遺産フォーラム



市内には美々津、細島の町並みなど貴重な歴史遺産があります。その活用方法や保存について日向勤労総合福祉センター「日向ハイッ」で8月31日と9月1日の2日間、情報交換を行いました。フォーラムは全国から160人が参加。初日、国際文化財保存修復協力センター長の斎藤英俊さんを講師に「文化遺産保護・新たな展開」と題して基調講演があり、その後2コースに分かれて市内の遺産を見学。翌日はテーマごとに討議が行われ、最後に全体会で「利便性、合理性だけに流されることなく歴史・文化・自然遺産の活用と保存をしよう」と宣言し閉会しました。

日向之国耳川流域民俗芸能祭



日向之国耳川流域民俗芸能祭は10月14日、日向市文化交流センターで開かれました。これは、耳川流域の文化交流を図るため、7市町村の10団体から地域の特色ある伝統芸能を紹介され、本市からは塩見の白太鼓踊り、別府の供養盆踊り(写真)、ひよつとこ踊りが披露されました。日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区の西側にある別府地区は石垣で区画された、江戸時代から続く区画構成を今に残しています。この踊りは初盆の家を一軒ずつ回り、精霊や家族の心を静めたものです。踊り手は、手ぬぐいで口を隠し、静かな踊りで始まる6種の調子で次々に踊ります。

森と川と海のフォーラム



森と川と海のフォーラムは10月18日、日向市中央公民館で約300人が参加して、耳川の上流域(椎葉村)、中流域(東郷町)、下流域(日向市)代表の3人による意見発表の後、MR Tラジオ局長の檉元 洋さんをコーディネーターとしたパネルディスカッションを行いました。私たちの住む日向東臼杵南部圏域は、耳川やその他の河川が、森と海を媒介して川上と川下の関係にあり、生活・文化・経済面などでも「運命共同体」の深い関係にあります。最後に「森林保全と河川の浄化、地球にやさしい生活をするよう努める」という宣言をしました。

記念碑を世界恒久平和のシンボルに

学童集団疎開記念碑除幕式が10月30日、市役所前広場で開かれ、除幕式は沖縄県浦添市から儀間光男市長をはじめ32人と日向市民の合わせて、約200人が参加して行われました。

山本市長が「戦争の悲惨さを忘れず、後世に伝え、世界恒久平和のシンボルとなることを祈念します」とあいさつしました。

来賓として儀間浦添市長が「戦時下の物不足の中、学童であった浦添市民の受けた恩義を感じずに



市役所前広場に建立された学童集団疎開記念碑

は「いらねえ」と感謝の気持ちを表し、祝辞を述べました。

この日は疎開先の塩見小、平岩小でもそれぞれ、学童集団疎開浦添日向交流実行委員会が設置した記念碑の序幕式もありました。

浦添市の学童は1944（昭和19）年8月28日、沖縄戦の戦火を逃れるため、那覇港を出港。米軍潜水艦の魚雷を避けながら9月1日、鹿児島港に到着しました。

日向市（当時富島町）には同年9月8日、浦添国民学校の学童、116人と教師3人、その家族11

市長随想



山本孫春 ⑧

新たな飛躍
21世紀の幕開けの今年、振り返ってみると多くの出来事がありました。バブルの後遺症は金融不安を招き、失業率5・3%と最悪の記録。アメリカにおける同時多発テロ事件は、一瞬にして数千人の尊い命を奪い、世界経済を脅かし戦争という痛ましい事態に突入しました。しかし、いかなる理由があろうともテロ行為は許してはなりません。

民族、宗教による紛争を根絶し、全人類の願う世界恒久平和を実現したいものです。

そのような中、私たちの日向市は、先人たちのたゆみない努力によって、市制施行50周年の輝かしい節目の年を迎えることができました。

夢と希望にあふれる未来に向かつて「はばたけ日向！参加・連携・創造」の旗印のもと、今日までの歩みを顧み住みよい社会を築くため、新たな飛躍に挑戦したいものです。

平成13年度日向市文化賞に長渡万太郎さん

平成13年度日向市文化賞受賞者に長渡万太郎さん（伊勢ヶ浜・80歳）が決定。11月3日、授賞式が市役所で開かれました。

長渡さんは日向市俳句会の草創期とされる昭和27（1952）年頃から俳句を学び、今日まで市の俳句会をリード。その間、各俳句会の役員を歴任し各種俳句大会においても数々の授賞歴があります。

特筆すべきは、市内各派の俳句

会組織を一本化し、日向市俳句会連合会を組織したこと。現在も同連合会会長の要職にありま

俳人としても、月刊同人誌「漁火」の編集を担当する傍ら、県内では句界最高峰といわれる同人誌「椎の実」の同人としても現役で活躍しています。

永年にわたる俳句での市芸術文化向上に果たした功績が認められての授賞です。

平岩地区介護予防拠点施設の名称が決定

平岩ふれあい館に決定

南日向公民館跡地に建設を予定している平岩地区介護予防拠点施設の名称が決定し表彰式が10月31日、市長室で行われました。

施設の名称は「平岩ふれあい館」に決まり、最優秀賞となった原田隆汰くん（平岩小3年）に市長から賞状と記念品が手渡されました。

また、優秀賞の児玉

豪華客船「飛鳥」クルーズ

心に残る船旅を

市民自主企画の市制施行50周年事業「飛鳥クルーズ」の参加者が10月26日、細島港を出港し3泊4日の船旅に出ました。岸壁では、関係者や参加者の家族など約100人が見送りました。出港式では、船長の幡野保裕さん、乗客代表の後藤千賀子さん（天王谷小5年）に日向ひまわりレディから花束の贈呈があり、山本市長が「ごとうか心に残る船旅を楽しんでください」とあいさつ。また、甲板から乗船客が岸壁の人たちに手を振る姿も見られました。

花火が打ち上げられ、見送る家族たちが、手にした色とりどりの風船を放つと、豪華客船「飛鳥」は静かに細島港を後にしました。



日向市文化賞を受賞した長渡万太郎さん



賞状を受け取る原田隆汰君



幡野保裕船長（中央）らへ花束贈呈

■広報紙に掲載された写真を差し上げます。
希望する人は、市総務課(☎内線2234)まで。



子どもに質問する井上あずみさん(左)

熱唱する市職員ロックバンドMOKKA.C.O

司会者のかけ声でカウントダウン。大いちょうの木に施された電飾が点灯すると集まった市民から歓声が上がりました。アニメーション映画「となりのトトロ」の主題歌などを歌う人気歌手、井上あずみさんのコンサートも開かれ、井上さんを目見ようと親子連れ、アニメファンなどが詰めかけ、夕方から降り出した小雨にもかかわらず、いっしょにアニメソングを口ずさんでいました。

日向市駅前広場で11月11日、駅前フェスタ2001が開かれ、ゲーム・地取れ野菜市などの催しが行われました。この駅前フェスタは、日向市職員労働組合、都町商店会、上町商店街振興組合でつくる実行委員会が市民で楽しめるイベントを開きたいと企画したもの。広場では神野お多福チンドン隊や塩見の白太鼓踊りが披露され、市職員ロックバンドMOKKA.C.O.の歌と珍しいジャンベ太鼓の演奏で盛り上がりを見せました。市民コーラスグループ「ヒューガンヴォイス」は素晴らしい歌声を披露。また、噴水の周りには手作りの「トトロ」のポスターが数多く飾られていました。



タイムカプセル設置式が11月16日、市役所前広場で開かれました。これは「今の自分から未来の自分や友人、家族にメッセージを送る」という企画。今年にちなみ2001通を募集し、10年後に開封各あて先へ郵送されます。カプセルはベンチ型で、約100人の市民が見守る中、若田翔太くん(5歳)と則貞早紀ちゃん(5歳)たちが最後のタイルを一枚ずつ貼り、完成しました。

10年後に届くかなー



公共工事に対しての理解を深めようと「土木の日フェスティバル」が11月11日、市役所前広場で開かれ、家族連れでにぎわいました。これは、土木事務所や北部港湾事務所など県の出先機関と日向地区建設業協会や市で準備してきたもの。うどんやおでんなどの屋台、丸太切り大会、しいたけの種こま打ち大会もありました。バックホーの試乗は、幼児たちに大人気。幼児たちは、まるで操縦者になったつもりで試乗していました。

操縦している気持ちで試乗

駅は始まりと交流の場所



たくさんの青果が並べられました



模擬セリで落札する市民

第2回市場まつりが11月11日、日向青果地方卸売市場(平岩)で開かれました。これは、青果市場の役割や運営のあり方を広くPRするため、市場関係者で組織する市場まつり実行委員会(河野貞巳実行委員長)が昨年からの市場を開放して開設3周年を迎えた同市場は、第3セクターで施設を管理しており、野菜や果物などが県内はもとより全

国から集まります。今日だけの模擬セリも実施され、参加した市民が格安で落札していました。市場では実際のセリで一日に約40トンがさばかれ、出荷されます。この日は、カラオケ大会、ポン菓子づくりや団子汁のふるまいなども無料で行われ、訪れた市民約300人と市場関係者は交流を深めていました。

今日だけの模擬セリも実施



日向現代彫刻展2001の市民大賞が決まり11月11日、表彰式が日向岬グリーンパークで開かれました。市民大賞は1236票あった市民投票の結果をもとに、実行委員会を選ばれた佐善圭さん作(千葉県市36歳)「こころ合わせて」に決定。佐善さんは「世の中が殺伐としている今、人の優しさを白い大理石で表現しました」と作品について語りました。

人の優しさを白い大理石で表現



塩見川のほとりに白鳥が飛来し、バードウォッチング愛好者などを楽しませています。白鳥は幼鳥で、現在2羽が確認されています。塩見橋とたいえい橋の間をゆつくりと泳ぎながら、羽をばたかせ、ときには毛づくろい。水中に頭を潜らせ、えさを探するなど優雅でかわいいしぐさを見せています。橋を通りかかった女子高生も「白鳥はどこからきたんですか。かわいいですね」と足を止めていました。

優雅でかわいいしぐさ

情報伝言板

「情報伝言板」は、皆さんの自主的な活動を応援するコーナーです。サークル活動などの会員募集やイベントなどの情報をお寄せください。営利や政治・宗教活動を目的としたものはお断りします。

原稿は、毎月1日までに市総務課（☎内線2234）へ。ただし、紙面のスペースの関係上、掲載できない場合があります。

■カルチャー講座を開きます

延岡地域職業センターでは次のとおりカルチャー講座を開きます。

①ガーデニング

季節の花を用いてガーデニングを楽しんでください。

◇とき＝1月24日（木）、午前10時から12時

②フラワーアレンジメント教室

アート感覚でお部屋のインテリアを季節の生花等で作ります。

◇とき＝2月21日（木）、午前10時から12時

◇場所＝延岡地域職業訓練センター（〒889-0513延岡市土々呂町4丁目4390-1）

◇受講料＝1人2300円

◇受講者＝各講座20人（定員になり次第締切とする）

◇申込方法＝電話で申し込みください。（☎0982-37-7788）

■労災保険のことなど相談ください

（財）労災年金福祉協会では、厚生労働省の委託を受けて「仕事の疲れやストレスからくる健康のこと」、「精神的な悩み」、「労災保険のこと」などに関する相談に応じています。相談は無料で、秘密は厳守します。

◇相談時間＝午前10時～午後4時（土、日、祝日を除く）

◇場所＝（財）労災年金福祉協会宮崎相談所（宮崎市広島2-10-20 坂下ビル4階 ☎0985-25-0022、フリーダイヤル0120-603-114）

市制施行50周年記念事業

「はばたけ！日向」～参加・連携・創造～

『市民自主企画運営事業』の紹介

■楽しいピアノコンサート

◇日時・場所＝12月9日（土）日向市中央公民館ホール

▽開場：13：30▽開演：14：00

◇内容＝ピアノは決して難しいものではなく、楽しむものであり、音楽のある楽しい生活を送りたい、と大人になって初めてピアノを習った20代～70代の男女約60名が出演。イントロ当てクイズなども行います（入場無料）。

◇問い合わせ＝斎藤（☎52-1942）

『50周年実行委員会運営事業』の紹介

■ひゅうが百景フォトコンテスト

◇題材＝後世に残しておきたい日向市内の風景、祭り、市民の営みなどをテーマに、平成13年1月1日～平成14年1月31日までに撮影したデジタル写真以外の写真です。

◇部門＝一般部門、ファミリー部門に分けてそれぞれに規定を設けています。また、一般部門ではグランプリに30万円の賞金など61点、ファミリー部門では特選に図書券3万円など39点の賞を予定しています（詳細は問い合わせ先へ）。

◇応募資格＝全国のプロ・アマを問いません。

◇応募期間・方法＝平成14年1月7日～1月31日、市商工観光課に用意している応募票を作品裏に貼り提出。

◇問い合わせ＝市商工観光課（内線☎2637）

図書館

ア・ラ・カ・ル・ト

■クリスマスおはなし会

毎年、この時期になると個人の家をツリーの電飾が色鮮やかに彩るなどまち全体がクリスマス一色になります。そんな週末の午後のひとコマ「おはなしの部屋」で「クリスマス絵本」との出会いを親子で楽しんでみてはいかがでしょうか。

◇日時＝12月22日（土）14：00～2階おはなしの部屋

■人権に関する図書展示について

12月4日～10日は人権週間です。「ドメスティック・バイオレンス」「ネグレクト」など人権にかかわる「新語」が新聞等において数多く掲載されています。図書館では毎年、人権に関する図書を人権週間に合わせて展示しています。今一度「人権」について思いをめぐらせてみてはいかがでしょうか。

◇展示期間＝12/4～12/10

ぼくたち わたしたちの



今月号は、8月にゴーラ市に派遣した中学・高校生の作文を紹介します。

「大きな成長」

荒井 正博さん（富島中学校3年）



今回のホームステイは、自分にとって、とても大きな経験となりました。自分の夢を決めるきっかけにもなりました。また、一つの出会い、ひとつの別れを、とても大きなものに感じることができました。出発前の自分の考えは「ただ楽しんでくればいいか」という気持ちで、事前学習もほんの少ししか、していませんでした。しかし、帰ってきた今は、出発前の考えの甘さへの後悔、ホストファミリーの人々への感謝と同時に「また、もう一度会いたい」という、強い思いも残っています。

ホストファミリーの人達は、自分に対して本当に親しくしてくれ、今回、僕がこういう企画に参加できたのは、周りの人々のいろいろな助け、協力があつたからです。まず、日向市役所の企画課の人たち、学校の先生や友達。そして、原口先生と8人の友達。何よりも一番感謝しなければいけないのは、お母さんです。家で、僕が「オーストラリアに行きたい」と言い出したとき、こころよく賛成してくれて、いろいろなアドバイスをしてくれました。また、弟、親せきの人たちも、たくさん協力してくれました。ありがたう。僕は、オーストラリアに行つて、大きな心の成長を手に入れました。ホストファミリーの人々、友達とも、いつでも連絡が取れるのでこれからも、互いの文化を学び合っていきたいと思っています。

たし、自分達のために、いろいろな場所につれていってくれました。特に、お父さんが死んでしまった。今はいない僕にとって、ホストファミリーのお父さんは、とても頼れる人でした。学校でも、日本や日向とは違つた、いろいろな習慣、文化を学ぶことが出来ました。生徒も、以前から知り合いだったように、親しく接してくれました。僕は、オーストラリアという国の人々の心のあたたかさ、日本とは違った自由な生活を、うらやましく思いました。

河野 寛之さん（27歳：原町3）

市内のラグビーチームに入っています。グラウンドなどの施設は充実していますが、芝が良くなるともっといいですね。

僕に、まちで出会ったら気軽に声をかけてください。



いきいき 青春トーク

このコーナーでは、みなさんの近所の若者や職場のホープを紹介しています。紹介したい人がいる場合は、市総務課（☎内線2234）までご連絡ください。なお、自薦、他薦は問いません。ご連絡をいただいた人は、広報係が写真を撮りにうかがいます。



細川 里美さん（24歳：塩見）

友達づくりにもなるので、着付教室と料理教室に通っています。最近始めたインターネットで、買い物や資格取得にチャレンジしたいです。ミニバレーボールチーム「とりきち」に所属しています。楽しいですよ。

お知らせ

市の年末年始の業務をご案内します

市役所は、12月29日から1月3日まで休みとなります。そこで、年末年始の市の業務をお知らせします。

戸籍届

出生届や婚姻届などは、市庁舎玄関横の警備員室で受け付けます。住民票や戸籍謄・抄本、印鑑証明等は発行できません。

水道の修理

水道の修理については、浄水場 (☎ 54-5500) へお問い合わせください。下水道の修理 (浄化槽・尿のくみ取り) 年末は12月28日まで、年始は1月7日からです。突発的な事故等は、浄化センター (☎ 54-5510) へ。

ごみの収集

12月29日 (土) 11月・木曜日地区・12月30日 (日) 11月・火・金曜日地区の燃やせるごみを収集します。持ち込

み (両日、午前8時30～正午、午後1時～4時)
◇12月31日 (月) 11月・持込みのみ (正午で閉門します)
◇1月1日～3日 11月・休みで持ち込みもできません。
※1月2日 (第1水曜日) の燃やせないごみの収集は、1月5日 (土) に行いますが、持ち込みはできません。

詳しくは、市環境整備課 (☎ 53-2256) または清掃センター (☎ 53-3401) へ。

農業委員会選挙人名簿

農業をする人は登録を

市選挙管理委員会では、毎年1月1日現在で、有権者の申請に基づき「農業委員会選挙人名簿」を作成しています。次のすべてに該当する人は、来年1月10日までに市農業委員会へ申請書を提出してください。
①市内に住所のある人
②20歳以上の人 (昭和57年4月1日までに生まれた人)
③耕作面積が10アール以上ある人もしくはその人と同

居の親族または配偶者で、年間の耕作従事日数が60日以上ある人
申請書は、12月中旬に送付しますが、届かなかった人は、市選挙管理委員会 (☎ 内線 2231) までお問い合わせください。

保険証の切り替え

12月から変わります 国保の保険証

国民健康保険被保険者証 (保険証) が、12月1日から変わります。新しい保険証は、一般被保険者証が「空色」、退職被保険者証が「濃いクリーム色」です。

みなさんが現在、使用している保険証は11月30日までしか使えません。12月1日からは、新しい保険証を使うこととなりますので、古い保険証は市健康保険課またはお近くの支所までお返しください。なお、新しい保険証は郵送しますが、記載内容に間違いがあった場合は、市民課 (☎ 内線 2134) までご連絡ください。

また、「はり・きゅう・マッサージ施術受診券」も新しくなります。
詳しくは、市健康保険課 (☎ 内線 2155) へ。

12月の相談
◇交通事故巡回相談
とき 12月21日 (金) 10:30～14:30
ところ 中央公民館
◇法律相談 (要予約)
とき 12月13日 (木) 10:00～15:00
ところ 中央公民館
◇人権・行政相談
とき 12月5日 (水) 10:00～15:00
ところ 中央公民館
◇年金巡回相談
とき 12月11日 (火) 10:00～15:00
ところ 青少年ホーム
◇障害者相談
とき 12月9日 (日) 10:00～12:00
ところ 身体障害者センター ☎ 52-15434
女性による女性のための相談
とき 12月6日 (木)、13日 (木)、20日 (木)、13:30～16:00 ☎ 510300
ところ 男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」

平成13年12月1日から平成14年3月20日まで、県内各河川において、増・養殖用種苗を確保するため、うなぎ稚魚 (しらうなぎ) の特別採捕が行われます。採捕するためには知事の許可が必要であり、許可を受けずに採捕した場合は処罰されます。また「うなぎ稚魚」の取扱に関する条例に基づき登録を受けずに、全長25センチメートル以下の大きなうなぎを取扱った場合も処罰されますのでご注意ください。
◇問い合わせ 県農政水産部 漁政課 漁業調整係 ☎ 985-26-7146

12月の相談
◇交通事故巡回相談
とき 12月21日 (金) 10:30～14:30
ところ 中央公民館
◇法律相談 (要予約)
とき 12月13日 (木) 10:00～15:00
ところ 中央公民館
◇人権・行政相談
とき 12月5日 (水) 10:00～15:00
ところ 中央公民館
◇年金巡回相談
とき 12月11日 (火) 10:00～15:00
ところ 青少年ホーム
◇障害者相談
とき 12月9日 (日) 10:00～12:00
ところ 身体障害者センター ☎ 52-15434
女性による女性のための相談
とき 12月6日 (木)、13日 (木)、20日 (木)、13:30～16:00 ☎ 510300
ところ 男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」

体験しませんか 手漉き和紙づくり

平成13年度美々津手漉き和紙講座 県内に唯一残った手漉き和紙です。今年度は前年度の入門編に引き続き、初級編を開催します。市指定無形文化財「美々津手漉き和紙の製作技術」保持者・佐々木寛治郎さんを講師に迎え、6回コースで手漉き和紙の原料加工処理工程の学習や紙漉きを体験します。
◇日時 平成14年1月9日 (水)、11日 (金)、16日 (水)、18日 (金)、23日 (水)、25日 (金)、午前9時～11時
◇内容 第1回・開講式、和紙の原料加工処理・作業工程の説明/第2回～第5

回 実技 (紙漉き) / 第6回・講評、閉講式
◇場所 第1回・第6回 日向市美々津軒 (美々津町3328) / 第2回～第5回 美々津手漉き和紙作業所 (美々津町2703)
◇講師 佐々木寛治郎さん (市指定無形文化財「美々津手漉き和紙の製作技術」保持者)
◇受講料 無料
◇定員 5名程度
◇対象 18歳以上の人で6回続けて受講できる人 (ただし高校生は除きます)
◇申込締切 平成13年12月27日 (木) (定員になり次第締切ります)
◇問い合わせ 市社会教育課 文化係 (☎ 内線 2425)

募集します 市の臨時職員

市は次のとおり平成14年度の臨時職員を募集します。
◇職種 ①一般事務 ②保育士 (有資格者)
◇年齢 問わない
◇賃金 一般事務、月額6000円、保育士、月額6000円 (平成13年度の月額)
臨時職員の募集

策定委員になりませんか

市は、高齢者が健康で生きがいを持って暮らすためにける社会をつくるために「日向市介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」を策定しています。この計画の見直しのために関係機関などをメンバーとした委員会を組織し、検討することとしています。今回、市民代表の立場での策定委員を募集します。
◇募集定員 若干名
◇申込期限 12月21日 (金)
◇申込・問い合わせ 市福祉事務所 高齢者福祉係 (☎ 内線 2169)

Q&A

ねんきん 何でも

Q. 遺族基礎年金について教えてください。
A. 国民年金に加入中の方が亡くなられた時、亡くなられた方に生活を支えられていた子供のある妻、または子供に遺族基礎年金が支給されます。子供は18歳未満 (障害をもつ場合は20歳未満) の方が対象となります。
ただし支給を受けるには納付要件などの確認がありますので、該当していると思われる場合は、市役所の年金係、または社会保険事務所でご相談ください。

税金一口メモ

平成14年度の固定資産税は、平成14年1月1日現在 (賦課期日) の状況によって課税されます。土地や家屋は誰が所有者として登記 (登録) されているか、土地の利用状況 (地目) はどうなっているか、新築の家は完成しているか、今までの家の取壊しは済んでいるか等です。なお、家を取壊すと家の税金はかからなくなりますが、土地の税金は上がることがあります。詳しくは資産税係 (☎ 内線 2113) へお尋ねください。

あなたとわたしの 男女共同参画社会

日向ひまわりフォーラム 推進ルーム「さんびあ」の市民団体・自主企画事業を開催します。教育現場におけるジェンダー意識調査/ホームページ作成養成講座/人材バンク設立のためのカード作成/12月1日、「ホタル」上映会/1月19日、子育て講演会/2月12日、松本ヒロ・ソロライブ/2月9日、日向市民音楽講座/2月23日、全体会としてジェンダー意識についてパネルディスカッションを予定しています。多くの方のご参加をお願いします。

日向市 情報公開制度

Q&A
④

Q 情報公開制度では、実施機関が持っているすべての文書を開示するのですか。

A 実施機関の管理する公文書は、すべて開示することが原則ですが、開示することにより個人のプライバシーを侵害したりする場合があります。このような個人情報等を保護するために、「不開示情報」として開示しないことができる公文書の範囲を次のように定めています。

- ① 法令秘情報
- ② 個人情報
- ③ 法人等情報
- ④ 公共安全情報
- ⑤ 国等関係情報
- ⑥ 意思形成過程情報
- ⑦ 事務事業執行情報

詳しいことは市民情報室にお問い合わせください（☎内線2237）。

自衛隊生募集

◇受付期間＝平成13年11月5日（月）～平成14年1月4日（金）
《採用予定数》

◇陸上自衛隊生徒＝約250人
◇海上自衛隊生徒＝約60人
◇航空自衛隊生徒＝約50人

◇応募資格＝平成14年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業予定者（平成14年3月卒業もしくは、中等教育学校の前期課程終了見込みのものを含む）

◇第1次試験＝平成14年1月6日（日）
◇問い合わせ＝自衛隊日向募集事務所（☎52-6914）、市総務課（☎内線2222）まで。



親切・丁寧・迅速な対応

行政 改革

市民の視点で市民本位の行政を

◎行政サービスの向上

窓口等において市民の立場に立つて親切・丁寧・迅速な対応に努め、行政手続きの簡略化を図るとともに、ホームページの活用など、IT時代に即した市民サービスの一層の向上に努めます。

- ① 窓口サービスの充実
- ② 情報化の推進
- ③ 行政手続きの見直し

◎開かれた市政の推進

市政の公正性、透明性を一層高めるとともに、情報

◎効率的な行政運営

徹底した事務・事業の見直しを行い、限られた財源の有効活用を図りながら、経費の節減に努め、効率的

◎時代に即応した組織と人材の育成

- ① 事務・事業の整理合理化
- ② 民間委託等の推進
- ③ 行政運営の効率化
- ④ 財政の健全化
- ⑤ 補助金等の見直し
- ⑥ 適正な定員の管理
- ⑦ 適正な給与の管理
- ⑧ 市関係団体組織の見直し
- ⑨ 広域行政の推進

な行政財政運営をめざします。また、5年間で職員数を10人削減し、経費を5億円節減することを目標にします。

- ① 事務・事業の整理合理化
- ② 民間委託等の推進
- ③ 行政運営の効率化
- ④ 財政の健全化
- ⑤ 補助金等の見直し
- ⑥ 適正な定員の管理
- ⑦ 適正な給与の管理
- ⑧ 市関係団体組織の見直し
- ⑨ 広域行政の推進

を確保し、前例にとらわれない柔軟な発想をもつ職員の育成に努めます。

- ① 行政課題に対応した組織・機構の構築
- ② 各種審議会等の見直し
- ③ 人材の育成

つてくたさい 親しまれる名称・デザイン

市は平成14年4月より、高齢者及び障害者等の交通手段の確保及び社会参加を促進するためにふれあい福祉バス（仮称）の運行を予定しています。今回、このふれあい福祉バスが市民から親しまれ気軽に利用できるような名称・デザインを募集します。

《名称募集》

◇対象者 日向市民

◇応募方法 1人1点。名称・住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、はがき又はファックス（☎56-11423）で市福祉事務所高齢者福祉係まで応募してください。

◇募集期間 12月3日（月）～12月25日（火）まで。

《デザイン募集》

◇対象者 問いません。

◇応募方法 1人1点。4つ切判白色画用紙を使用し、その枠内にデザインしてください。図案の色付けは自由です。作品についての簡単な説明・住所・氏名・電話番号を裏面に記入し、市福祉事務所高齢者福祉係まで応募してください。



全長約7m、車幅約2.3m、高さ約3m

地元で働いてみませんか

市温泉準備室は会社設立に伴い社員を募集します。

- ◎温泉館
- ① 正社員 合計6人
- 《フロント》
- ◇業務 1名（お客様対応、経理事務など）募集 3人
- 《売店》
- ◇業務 1名（お客様対応、商品販売など）募集 1人
- 《喫茶》
- ◇業務 1名（お客様対応など）募集 1人
- 《発泡酒製造》
- ◇業務 1名（ビール製造など）募集 1名（要技術修得）
- ② 嘱託社員 募集 合計2人
- 《厨房》
- ◇募集 料理長1人・副料理長1人
- ③ パート社員 合計15人
- 《フロント》募集 2人
- 《売店》募集 3人
- 《温泉館》募集 4人

1月は償却資産申告の月です

会社や個人で工場や商店などを経営する人が、その事業のために用いている構築物・機械・器具・備品等の固定資産を償却資産といい、土地・家屋と同じように固定資産税が課税されます。償却資産を持つ人は、地方税法第383条の規定により、毎年1月1日現在の所有状況を1月31日までに申告していただくことになっています。

資産種類ごとの主な償却資産

構築物	構築物	路面舗装（駐車場等）、側溝、緑化施設、その他土地に定着した土木設備、看板など
	建物	借店舗・借事務所等に施した造作費・建設設備
機械及び装置	付属設備	受変電設備、屋外給排水設備、冷凍機など
	機械及び装置	工作機械、土木機械、印刷機器、製造機器、土木建設機械（クレーン車等）など
船舶	船舶	漁船、しゅんせつ船、モーターボートなど
	航空機	飛行機、ヘリコプターなど
車両及び運搬具	車両及び運搬具	フォークリフト等の大型特殊自動車（自動車税の課税対象であるものを除く）、台車、工場内運搬機など
	工具器具及び備品	事務机、応接セット、クーラー、パソコン、陳列ケース、音響機器、キャビネットなど



◇問い合わせ＝税務課資産税係（☎内線2113）

介護保険の制度や保険料の説明会

毎月1回説明会を行っています。今月は下記の日程です。どなたでも、ご参加いただけます。

◇とき＝12月17日（月）、午前10時～
◇ところ＝市民健康管理センター
◇問い合わせ＝高齢者あんしん対策室（☎内線2193）

あこやがひろば



渡邊 資生くん
耕二・景子(美々津町)



阿部 天音ちゃん
昭寿・玲子(西草場)



羽田野 雄太くん
昭敬・房子(往還)



和田 彩那ちゃん
満・智美(比良町5)



柏田 大翔くん
伸広・裕子(櫛の山)

乳幼児健診

■3か月児健診＝日時／12月14日(金)、25日(火)、対象／平成13年9月生まれ

■7か月児健診＝日時／12月20日(木)、対象／平成13年5月生まれ

■1歳児健康相談＝日時／12月12日(水)、対象／平成12年11月生まれ

■1歳6か月児健診＝日時／12月13日(木)、対象／平成12年5月生まれ

■3歳児健診＝日時／12月7日(金)、対象／平成10年5月生まれ

※受付時間は、3か月児・7か月児／午後1時～1時30分、1歳6か月児・3歳児／午後1時～2時、1歳児／午前9時30分～10時です。母子健康手帳を忘れずに、市民健康管理センターへ。

すくすく教室

◇日時＝12月18日(火)午後2時～午後3時30分

◇対象＝生後6か月までの乳児を育児中のお父さん、お母さん

◇内容＝①栄養士との離乳食作り・試食、②体重測定・身長測定、③赤ちゃんの健康相談、④ママやパパ同士の交流会など。

◇会場＝市民健康管理センター

◇持参するもの＝母子健康手帳

※予約・参加料は、必要ありません。

すくすくOB教室

市は、生後6か月以降の乳幼児と保護者の間づくりの場所として、市民健康管理センターを開放しています。

◇日時＝毎週火曜日午後2時～3時30分

◇対象＝生後6か月以降の乳幼児と保護者

◇内容＝自主的な交流会

パパママ教室

◇日時＝1月20日(日)、午前10時～12時

12月の休日在宅医

※事前にテレホンサービス
(☎53-1214)で確認を!

2日	和田病院(内・外・脳外・放・リハ・整外☎52-0011) 緒方医院(内・小児☎53-6333) くらぎ胃腸科・内科(胃腸・内・消化☎55-0505)
9日	三股病院(内・外・整外・胃腸・麻酔☎58-0034) 尾崎眼科(眼☎52-5600) 今給黎医院(内・循環☎54-2459) 寺尾医院(産婦☎63-1447)
16日	渡辺病院(産婦・泌尿☎57-1011) 天生堂医院(内・整外・麻酔・リハ☎53-8910) こどもクリニックたしろ(小児☎56-1515) 武富医院(皮☎52-5522)
23日	千代田病院(内・外・整外・胃腸・リハ・皮・放・麻酔☎52-7111) 柳田医院(産婦☎52-2950) 瀧井病院(内・精神☎52-2409)
24日	二本医院(産婦・外・胃腸☎54-4468) 協和病院(精神・神経☎54-2806) 吉田クリニック(内・循環☎55-0770) 長田整形外科(整外・リウ・リハ☎63-0507)
29日	黒木医院(内☎52-6055) 萩原眼科(眼☎63-7222) 山元医院(小児☎53-6066) 大平医院(整外・リウ・内・リハ☎52-3337) 家村内科(内・循環☎55-0600)
30日	甲斐医院(外・胃腸☎53-5000) 児玉小児科医院(小児☎52-2530) 太陽クリニック(内・消化・呼吸☎56-0030)
31日	古賀内科胃腸科(内・胃腸☎52-8118) 大久保医院(外・胃腸☎52-5338) 白石病院(内・呼吸☎63-1365)

ヘルシークッキング

柿なます

<材料4人分>

柿	1/2個
大根	1/3本
ごま	大さじ1
合わせ酢	
へべ酢	大さじ3
砂糖	小さじ2
塩	小さじ1/4

<作り方>

①柿は皮をむき、種をとってマッチ棒くらいの大きさに切る。
②大根も柿と同じように切り、塩もみしてさっと洗いしぼる。
③調味料を混ぜる。①と②を混ぜてすりごまをかける
エネルギー 48Kcal
塩分 0.9g(1人分)
※生柿の代わりに干し柿でもよい。柿の代わりににんじんでもよい。

◇対象＝出産を迎えるパパとママ

◇内容＝出産、育児についての準備、赤ちゃんのおふろの入れ方、パパも妊娠疑似体験など

◇会場＝市民健康管理センター

◇申込方法＝開催日の1週間前までに氏名、連絡先を市民健康管理センター(☎内線2184)までご連絡ください。

インフルエンザ予防接種について

次に該当する人で本人が希望される人を対象にインフルエンザ予防接種を実施しています。

①65歳以上の人

②60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器等の障害を有する人

接種を希望する人は、かかりつけ医等の各医療機関にお問い合わせください。接種時には、健康手帳及び身分が証明できる健康保険証等を持参してください。

◇実施期間＝平成13年11月1日～12月28日まで

◇接種回数＝1回

◇自己負担金＝1,500円

◇実施医療機関＝家村内科、向洋クリニック、二本医院、医心内科、古賀内科胃腸科、松岡内科医院、今給黎医院、こどもクリニックたしろ、三ヶ尻整形外科医院、浦上外科胃腸科医院、済生会日向病院、三股病院、大久保外科胃腸科医院、太陽クリニック、吉田クリニック、緒方医院、瀧井病院、吉森医院、甲斐外科医院、千代田病院、渡辺病院、くらぎ胃腸科・内科、天生堂医院、和田病院



12月の献血日程

3日(月)	日向保健所	9:30~16:00
13日(木)	日向市役所 協和病院	9:30~12:00 13:30~16:00
19日(水)	九州電力 日向警察署	8:40~11:30 13:00~16:00
23日(日)	九州ジャスコ日向店	10:00~17:00

24時間子育て

テレホンサービス

☎53-5857

日向市保育協議会



12/3(月)	テレビの見方のしつけ (1)テレビの苦情 (2)テレビの効用
12/9(日)	(3)見方の指導のポイント
12/10(月)	子どもの食生活と栄養 (1)調和のとれた食事とは
12/16(日)	(2)よい献立・おやつ (3)食事のしつけ
12/17(月)	子どもの発達を促すおもちゃの選び方 (1)想像性と創造性のあるもの
12/23(日)	(2)知的成長と運動神経の発達を促すもの (3)何にも優るおもちゃ
12/24(月)	知的遊びのいろいろ (1)知的遊びの進め方
12/30(日)	(2)知的遊びの仕方 (3)観察力や想像力を持つ子に育てる

※認可保育園において、毎週水曜日の午前中に園庭開放を行っています。お問い合わせはお近くの保育園へ。

10月中の交通事故

日向市分	() 内前月比
人身事故	死亡 負傷者 物損事故
52件	0人 60人 97件
(-2)	(±0) (-3) (+17)

～止まって確認!無事故に挑戦～

日向市の人口と世帯

(H13.10.1.現在)

人口	59,073人	増減	17(+)
男	27,790人	増減	14(+)
女	31,283人	増減	3(+)
世帯数	21,951世帯	増減	24(+)

転入	179人	転出	183人
出生	51人	死亡	30人

面積 117.43km²

郷土の歴史

シリーズ26
お常が茶屋

市制施行50周年記念日向市史編さん事業



顕彰記念石碑が残るお常が茶屋跡

幸協から金ヶ浜間の旧国道は、現在の国道10号よりも山手であり、大変険しかったようです。明治16年に大分県から宮崎県に転任した大崎敬方（元日州貯蓄銀行頭取）という人が、宮崎県再置30年史のなかに、『・・・道路の険悪なことを云ったら話にならぬ程で、今の美々津、富高間の榎時峠の如きは、溪谷山頂を越さねばならぬ有様で・・・』（原文）と述べています。

お常が茶屋は、この榎時峠にあ

ったといわれます。この峠は、一名、遠見ヶ辻ともいわれ、遠見地区の背面、海拔約300メートルの高地となっています。

お常さんは大変美人で気立てのいい人だったようです。紆曲した寂しい山あい、一点のあかり星を見つけ、美しいお常さんに出会った旅人の心のうちが想像できます。

また、この道路は、江戸時代には、豊後街道と呼ばれ、豊後の国（大分県）と日向の国（宮崎県）

を結ぶ重要な街道だったようです。明治時代には、大分県街道と呼ばれるようになりました。旧肥藩の学者平部橋南翁が明治9年から明治17年にかけて実地踏査して編著した、「日向地誌」のなかにも「榎解嶺鳥越嶺ノ東ニアリ嶺上ニ茶店一字アリ」（原文）とあります。

「平部橋南年譜」によると、明治12年、65歳のとき、4月から6月にかけて臼杵郡各町村を調査しております。その途中、峠の茶屋に立ち寄り、きれいなお常さんの

接待を受けながら取材をしたのかも知れません。

また、若山牧水も「耳川と美々津」のなかで『・・・富高の方から車で来てあの幸協上の坂から白々したこの港を瞰下した時にも、亦た斯の気持ちは必ず起つて来る。自由な、爽快な、新鮮な気持ち！』（原文）といっています。

牧水も、神武天皇が休憩されたという伝説をもつ展望絶景の高地にあったお常が茶屋で休憩したのではないのでしょうか。

豊後街道の名残のある旧国道も今では国道10号にはばまれ、「幸協峠」というバス停留所のあったお常が茶屋跡は生い茂った雑木林に囲まれています。そして、神武天皇休憩地の顕彰記念碑として地域の人たちが建てた石碑のみが残されています。



市史編さん室（市内線2236）では、日向の歴史に関する皆さんからの情報をお待ちしています。

こちら編集室



12月は寒い冬の入口。早いもので、今年も残すところあとわずかです。冬でも風通しの良い我が家ですが、暖房は主に電気コタツ。誰もいないと思って足をいれると、中で何かにあたります。子どもです。中に潜ってました。コタツ好きの遺伝子は、すっかり次の世代に伝わったようです。広報を担当して8ヶ月を過ぎたところですが、まだまだ失敗の連続。来年はもっと読みやすい広報をつくるよう心がけますので、よろしく願います。

《K》

広報 ひゅうが

平成13年12月号

■編集／日向市役所総務課

〒883-8555

日向市本町10番5号

☎0982-52-2111

■印刷／(有)第一印刷